


<http://www.yakushin.jp>


躍進の永遠の目標
価値ある「安心・空間・環境」を創造する

主な内容

②面 木材劣化診断士の目指すべき姿

③面 究極の資産価値アップを実現!

④面 次世代住宅ポイント、新型コロナで8月末契約物件まで対象

発行所
埼玉県さいたま市
見沼区中川106-1
☎048-688-3388
☎048-680-7615

株式会社 躍進

編集・発行人

笠井 輝夫

頒価: 220円(送料込み)

来月より改革トライアルを開始!
情報誌のすべてを一新します!

平素より格別のご贋買を賜り、厚く御礼申し上げます。

う実感があります。そんな時代にふさわしい情報発信のあり方を検討してきた躍進ですが、

より改革トライアルを開始いたします。令和の時代にふさわしい情報発信とはどうい

情報誌躍進も平成十五年一月の創刊より十七年以上を経過し、通巻二〇〇号を超えるまでになりました。これも偏にみな

このたび情報誌躍進のすべてを一新することになりました。

そのため、様々な取り組みを実施しながら、最高の情報発信をしていきます。ご期待ください。

巷では、新型コロナウイルスが猛威をふるっており、令和の時代に入り、今月で満一周年となり、いよいよ本格的な動きをしてきたとい

組むを実施しながら、最高の情報発信をしていきます。ご期待ください。

そのため、様々な取り組みを実施しながら、最高の情報発信をしていきます。ご期待ください。



先月号(第一〇八号)の羅針盤特別寄稿に対して、多くの反響がありました。心より感謝いたします。

様々なご意見のなかで、特に多かったのが、「(緊急事態宣言が)新型インフルエンザ等対策の特別措置法改正に限定されるのならい

ざ知らず、その勢いに乗って、憲法改正に利用されるとなると、ち

よつとやつかい」という部分に対して、「拡大解釈なのではないか」「絶対に憲

法改正はしなければならぬ」という意見で、それを否定するののか」というご意見でした。

普段、私はイデオロギーに関する発言は一切いたしません。現行の日本国憲法に対しては、第九条に定められた恒久平和の精神を高く評価しています。

それは、平成の時代を振り返った時、わが国が一度も戦争に巻き込まれなかったことの証

明でもあると認識しているからです。その半面、現行の日本国憲法には、いくつ

かの不備があるように思います。それをそのままにしておいて良いかといえ、そうでは

ないと言わざるを得ません。こうしたことを踏まえて、憲法改正論

議が深まってくること、是非に良いことであると思います。しかし、先月号の羅

針盤のなかで用いた言葉に「火事場泥棒」「拙速な」というものがあります。私が強調したいのはこの部分な



羅針盤
住宅業界
もその波
に呑み込
まれるで
しょう。

代表取締役 笠井 輝夫

針盤のなかで用いた言葉に「火事場泥棒」「拙速な」というものがあります。私が強調したいのはこの部分な

その使命を果たしていく所存です。

そして、皆さまとともに、この未曾有の難局を乗り越えていく決意を新たにしています。

今こそ我々の力を一つにする時です。今後ともよろしくご指導のほどをお願い申し上げます。

法は国家の背骨であり、ご依頼申し上げます。

「地域のホームドクター」こそが 木材劣化診断士の目指すべき姿



これまでにご紹介を重ねてまいり、すっかりおなじみになりました**木材劣化診断士**ですが、床下点検に多くの実績がある躍進には現在、四人の木材劣化診断士がおります(左上写真参照)。

木材劣化診断士は、木材の生物劣化(腐朽と虫害)の診断技術の専門家です。

外構の中心となる木質構造物の生物劣化の現況を診断する様々な能力を
握っています。
また、補修や修理に関する助言、改修や維持管理に関する助言を行うことができます。

木材劣化診断士が習得した診断技術は、住宅などの劣化診断にも適用可能です。住宅と外構の基礎と劣化のポイントをおさえ、木材とその劣化、構造別の劣化の特徴を把握しています。

躍進は「地域のホームドクター」として、地元を中心に、多くの皆さまの暮らしを見つめてまいりました。

幸せなホームを実現するには、その入れ物であるハウス(住宅)が健全でなければなりません。肝心なのは、治療だけでなく「住まいの予防医学」を実践することです。

その中でも、床下点検は「住まいの予防医学」を実践する「地域のホームドクター」である躍進のまさに背骨ともいえる部分です。

シロアリや腐朽菌によって被害・侵食された家屋の耐久性は著しく低下します。耐震強度も下落し、新築当初の性能は保証できません。もし大きな地震等に遭い、家が傾くほどの損傷を受けた場合、その資産価値はゼロになってしまうのです。

そのため、床下点検を行い、土台や束などの木材の状態をチェックし、適切な処置を施さなくてはなりません。

その最前線で活躍しているのが躍進の木材劣化診断士であり、「地域のホームドクター」としての役割を果たしているのです。床下点検からはじまる「住まいの予防医学」は躍進におまかせを。ご依頼、ご相談などお気軽にご相談ください。

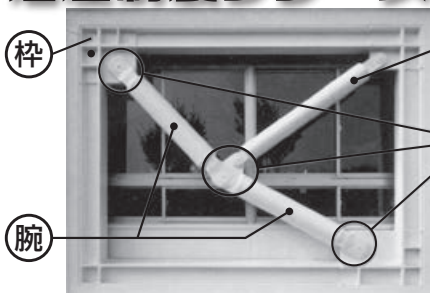
「住まいの予防医学」の最前線で活躍



開口部や空いている壁面を補強するだけで

耐震性がアップ!

増幅機構付き
油圧制震ブレース



オイルダンパー

日立オートモティブシステムズ(旧トキコ)社製。
半永久的に使用が可能です。

クレビス(回転支承部)

強度に優れた鍛造品を使用しています。

鍛造品は、加熱した金属を金型で圧縮、打撃、鍛錬して成形されます。一般的に疲労度が大きい箇所や靱性が必要とされる部分に使われます。

鋳造品ではなく
鍛造品を使用!

ますます好評!

お問い合わせは
躍進までお気軽に!

〒337-0043
さいたま市見沼区中川106-1
TEL 048-688-3388
FAX 048-680-7615
URL=http://www.yakushin.jp
E-mail=yakushin-no1@nifty.com

足場バック スプリングキャンペーン

床下3点セットと外装一式工事で究極の資産価値アップを実現!



※写真はイメージです。

躍進のリフォーム総合提案「足場バック」は、現在スプリングキャンペーンの真っ最中です。

「足場バック」の目的は、住宅の上下、内外のすべてをリフレッシュして、資産価値をアップさせることです。その目玉こそ『飛驒炭 床下調湿材』『カーボエース』『床下用攪拌・換気システム』の「床下3点セット」(左下写真参照)と、『エレガンストーン』(右下写真参照)に代表される外装一式工事なのです。

『床下トリオ』からはじまる資産価値アップセラミック炭から作られた脱臭調湿材『飛驒炭 床下調湿材』は、床下に二〇坪までの床下をカバーします。これは、従来の

一坪あたり約十二袋敷つめるだけで床下の湿気をコントロールします。底面をフィルム加工してありますので地面からの湿気もシャットアウトします。

同じく、セラミック炭から作られた土壌改良材『カーボエース』は、保肥性、保水性に優れ、病害虫の発生を抑制します。また土中から放出されるガスを吸着するほか、pH調整機能、土中有効微生物の繁殖促進効果もあります。

『床下用攪拌・換気システム』は、中央部設置によるダイレクト換気(新方式)により一台で

の床下換気扇三台分に相当します。換気と攪拌機能を同時に搭載した高効率換気システムであり、床下中央部の高温エリアをダイレクトに攪拌換気します。

それにより、布基礎や基礎パッキン工法、基礎断熱工法等、あらゆる構造の床下に設置可能です。

自然石調の仕上がりが大好評

外装一式工事を代表する商品として、いまやすっかりおなじみとなりました自然石調の装飾仕上塗材『エレガンストーン』は、自然石の無機系

素材がベースで、建物のエントランス部分から、戸建て住宅の外壁にも用いられています。自然の風合いを活かした意匠性が、壁面を多彩に演出します。

【意匠性】

主な特長は以下の通り。

【耐久性】

無機系素材の使用により耐久性に優れます。

【超低汚染仕様】

超低汚染型のクリヤートップを施工することで耐汚染性を向上させることができます。

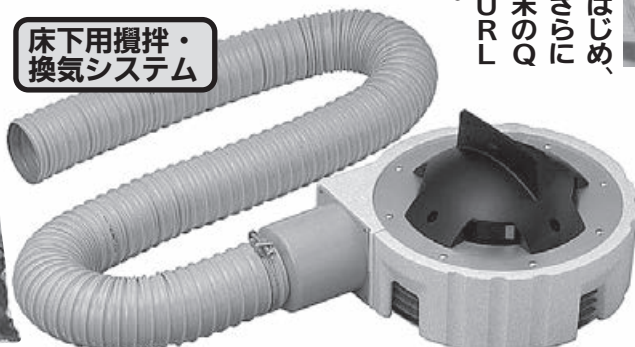
本誌はモノクロ印刷で



おかげさまで、「足場バック」の目玉商品となりました。



床下用攪拌・換気システム



<http://yakushin.jp/exterior-painting/>

躍進の「足場バック」をご利用ください。

新型コロナ、建設業の73.8%が「マイナスの影響」見込み 帝国データバンク調べ

帝国データバンク(東京都港区)は4月3日、「新型コロナウイルス感染症に対する企業の意識調査」(2020年3月)の結果を発表しました。

新型コロナウイルス感染症による自社の業績への影響について、『マイナスの影響がある』と見込む企業は80.3%でした。内訳は、「既にマイナスの影響がある」が46.5%、「今後マイナスの影響がある」が33.8%でした。一方、『影響はない』とする企業は9.0%、『プラスの影響がある』(「既にプラスの影響がある」+「今後プラスの影響がある」)と見込む企業は2.1%でした。

業界別にみると、建設業の73.8%、不動産業の82.0%が『マイナスの影響がある』と見込んでいました。業種別では、「家具類小売」(100.0%)、「飲食店」(98.2%)、「繊維・繊維製品・服飾品小売」(97.0%)、「旅館・ホテル」(96.8%)、「繊維・繊維製品・服飾品卸売」(96.6%)などで『マイナスの影響がある』と見込む企業の割合が高かったようです。

『マイナスの影響がある』と見込む企業の割合の月別推移をみると、3月に入って概ね8割程度で推移していましたが、首都圏を中心に行われた週末の不要不急の外出自粛を経て、3月31日にピークとなる84.4%を記録しました。

同調査の調査期間は3月17日から31日。調査対象は全国2万3676社で、有効回答企業数は1万1330社。回答率は47.9%でした。

不動産事業者の8割「新型コロナの影響ある」

イタンジ(東京都港区)、スペースリー(東京都渋谷区)、WealthPark(東京都渋谷区)は、不動産業界における新型コロナウイルスの影響とテレワークに関するアンケートを実施し、その結果を発表しました。新型コロナウイルスの影響を業務面で感じていると回答した割合は83%。業務のどの部分に影響を感じているか尋ねたところ、「来店数(の減少)」(42%)、「内見数(の減少)」(41%)との回答がそれぞれ4割を超えました。

テレワークの準備状況としては、「すでに全社員がテレワークを行っている」が13%、「一部社員が行っている」が29%となりました。

テレワークで賃貸仲介業務を行うにあたって不安な点を尋ねたところ、最も多かった回答は「物件内覧方法」(56.0%)。次いで「契約手続き方法」(44.0%)、「鍵の引き渡し方法」(39.3%)と続きました。テレワークで賃貸管理業務を行うにあたって不安なこととしては、「入居者対応業務」(51.8%)が最多。次いで「オーナー報告業務」(45.2%)、「建物巡回業務」(39.3%)となりました。

導入しているツールとしては、「チャットツール」(63%)が最も多く、「グループウェア」(56%)、「Web会議システム」(55%)と続きました。

調査期間は4月1日から3日。不動産事業者138社(回答者数175人)を対象に、インターネット調査を実施しました。

独身者の4割が住宅購入に積極的

エイチームフィナジー調べ

エイチームフィナジー(大阪市)はこのほど、「独身者の住宅購入についての意識調査」を実施し、その結果を発表しました。現在、住宅の購入を検討しているか尋ねたところ、15.6%が「すでに購入している」と回答。「具体的に購入を検討している」が4.3%、「まだ具体的に検討していないが、いずれ検討したい」が17.0%となりました。

「すでに住宅を購入している」と答えた割合が最も多かったのは50代後半の女性で35.7%。「すでに住宅を購入している」「具体的に購入を検討している」「まだ具体的に検討していないが、いずれ検討したい」を合わせた割合が最も多かったのは50代後半の男性で、45.7%となりました。女性は40代よりも30代の方が住宅購入に積極的であることもわかりました。

住宅の購入に積極的な人を対象に、購入したい住宅について質問したところ、「一戸建て」が51.4%、「マンション」が42.2%となりました。

住宅購入に関心を持ったきっかけとして最も多かった回答は「賃貸の家賃を払い続けるのがもったいないから」(27.3%)。次いで「老後のため」(21.6%)、「マイホーム購入の夢があるから」(15.2%)と続きました。購入を検討していない人の理由として最も多かった回答は「住宅ローンを払いたくないから」(43.6%)でした。

現在の住居は「実家」(52.0%)が最多。次いで「一人暮らし(賃貸)」(28.8%)となりました。

調査期間は3月5日から9日。全国の30歳から59歳の独身者(男女)819人を対象に、インターネット調査を実施しました。

次世代住宅ポイント、 新型コロナで 八月末契約物件まで対象

国交省

国土交通省は四月七日、日の間に契約を行った物件もポイントの付与の対象に含めることを発表しました。同制度は二〇一九年の四月七日から八月三十一日、台風一五号・一九号の影響

響もあり、着工期限を六月末までとする延長を行っていました。しかし新型コロナウイルスでは住宅設備や建材の納品の遅れなどで、事業者から受注や契約を断られるケースもあることから、八月末までの契約物件まで対象を広げたということです。

申請にあたっては、三月末までに契約できなかった理由の申告が必要となっています。管理不全の空き家の除却等措置、四年半で約七・七万物件

取り組む市区町村の状況と、管理不全の空き家の除却等の状況に関する調査の結果を公表しました。周辺の生活環境等に悪影響を及ぼす特定空き家等についての助言・指導などの措置は、空家法施行から二〇一九年十月一日までの四年半の累計で助言・指導が二万七〇二六件、勧告が二〇五〇件、命令が一二二件、代執行です。

二〇二〇年・新製品・政策・経営・インフラ・インフォメーション

株式会社

躍進

本社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1
☎048-688-3388 ☎048-680-7615

東京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F
営業所 ☎03-6804-2541 ☎03-6804-2542

URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com

関連会社

不動産事業

株式会社 ヤクシンジャパン

関連会社

株式会社

First Arrows
ファーストアローズ

事業内容

防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、
ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、
ピンニング、シングル葺き

木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除
及び予防、調湿剤、床下換気等

塗装工事：各種塗装

外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、
外壁等診断